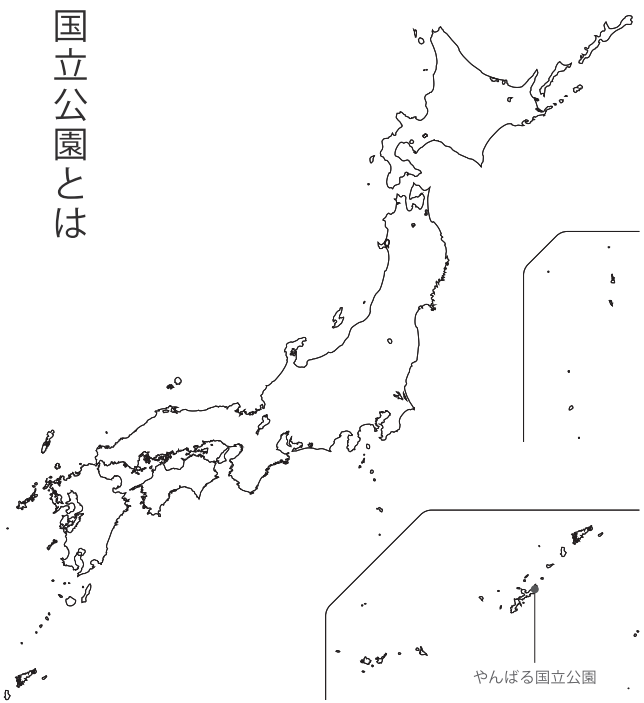


やんばる 国立公園



国立公園とは



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

連絡先一覧

環境省沖縄奄美自然環境事務所
〒900-0022 沖縄県那覇市穂川11-15-15
那覇第一地方合同庁舎1階
| TEL | 098-836-6400 | FAX | 098-836-6401
| URL | <http://kyushu.env.go.jp/naha/>

環境省やんばる自然保護官事務所
(やんばる野生生物保護センター ウフギー自然館内)
〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村字比地263-1
| TEL | 0980-50-1025 | FAX | 0980-50-1026
| URL | <http://www.env.go.jp/park/yambaru/index.html>

傷ついたり死んでいるヤンバルクイナなどを見つけたら、下記連絡先までお電話下さい。

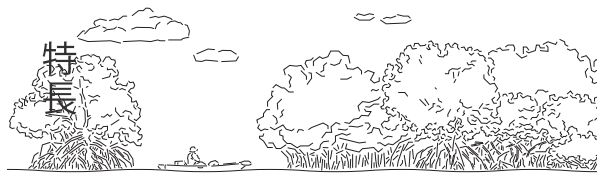
環境省やんばる自然保護官事務所
| TEL | 0980-50-1025

クイナダイヤル (NPO 法人 どうぶつたちの病院沖縄)
| TEL | 090-6857-8917



発行者：環境省
発行年：2020年

※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。



亜熱帯の森やんばる
多様な生命育む山と人々の営み

やんばる国立公園は、沖縄島北部に位置し平成28年9月15日に33番目の国立公園として指定されました。国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がり、琉球列島の形成過程を反映して形成された島々の地史を背景にヤンバルクイナなど多種多様な固有動植物及び希少動植物が生息・生育し、石灰岩の海食崖やカルスト地形、マングローブ林など多様な自然環境を有しています。また、このような自然環境の中での日々の暮らしで育まれてきた伝統的なやんばるらしさが息づく人文景観が特長です。やんばる国立公園では、このような亜熱帯の大自然を舞台に、景勝地めぐり、トレッキング、カヌー、川遊び、ドライブなどのレジャーが盛んに行われており、訪れる公園利用者へ良質な自然とのふれあいの場・機会を提供しています。

【指定年月日】平成28年9月15日
【面積】17,352ha(陸地のみ) 【関係都道府県】沖縄県



琉球王府時代から近年まで、やんばる地域は薪炭や都城の建設・船などの用材となる林産物の生産・供給の場として重要な役割を果たしてきました。昭和に入るまでは海上輸送が主流で、沖縄島中南部との間で「山原船」による交易が盛んに行われました。国頭地域から首里王府へ重い材木を多人数で運ぶ時の歌は、クンジャンサバクイ(国頭木遣音頭)として伝えられています。山で薪炭や琉球藍づくりなどの生業が営まれていた名残として、現在も各所に、炭窯や藍つぼの跡が残っています。海と山に囲まれたやんばる地域の集落では、海と山を一体として捉え、一つの空間から自然の恵みを受けているという空間認識が見られます。それを特徴づけるのが祭祀で、集落の邪気を払い豊作・豊漁を祈願するシメグや海神(ウンジャミ・ウンガミ)祭などはこれを象徴的に表しており集落の伝統として受け継がれています。



炭窯



安田シメグ

塩屋湾のウンガミ

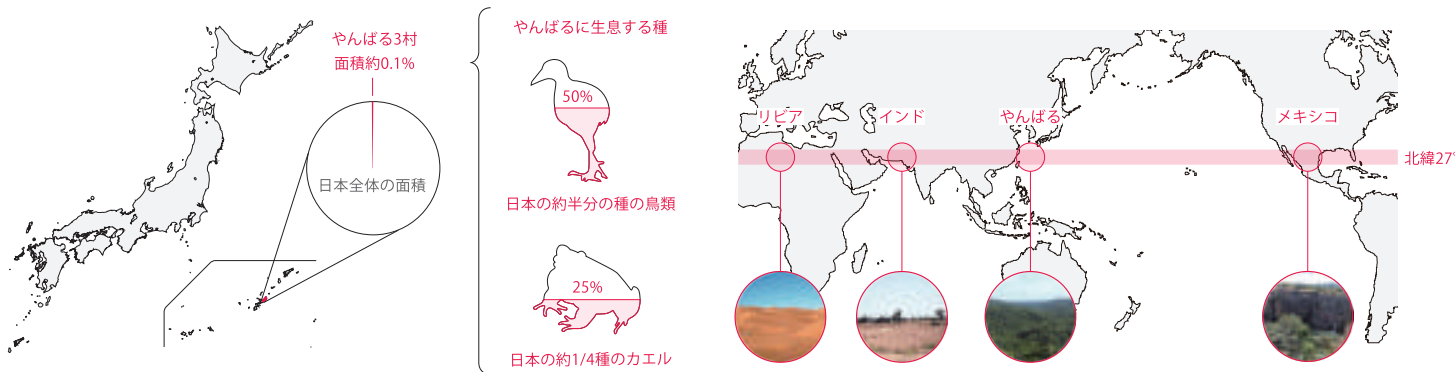


やんばるとは

「やんばる(山原)」とは、「山々が連なり森の広がる地域」を意味する言葉で、亜熱帯照葉樹林の森が広がっている沖縄島北部を指しています。特に、国頭村、大宜味村、東村を中心とする一帯はノグチゲラやヤンバルクイナをはじめとする多くの固有種が生息し、生物学的にまとまりのある森林が比較的健全な状態で残っています。

— 生物多様性 —

やんばる地域には、わずかな面積の中にたくさんの種類の生き物が生息しています。実に多様でユニークなたくさんの種類の生き物たちが、互いに密接につながりあいながら複雑な生態系を作りあげています。国頭村、大宜味村、東村は、日本全体の0.1%にも満たない狭い面積しかありませんが、日本全体で確認されている生物の種数に対して、鳥類では約半分、在来のカエルのうち約1/4の種類が確認されるなど、高い割合を占める動植物種が生息・生育しています。



取り組み

— 外来種対策 —

やんばる地域に多くの外来種が侵入しており、生態系への影響が懸念されています。1910年にハブや野ねずみ退治のため沖縄本島南部に持ち込まれたマングースは、1990年代以降にやんばるの森に侵入しました。やんばるの生き物たちは肉食動物から身を守るすべを持っていないため、すさまじい勢いで生態系のバランスが崩れ対策が必要とされています。そこで「やんばるマングースバスターズ」と呼ばれる専門家集団を組織しやんばる地域のマングース根絶を目指して防除事業を行っており、着実に成果が表れてきています。

— 希少野生生物の保護増殖 —

ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ヤンバルテナガコガネの3種について、保護増殖事業計画に基づき生息状況の調査等を行っています。ヤンバルクイナの飼育下での繁殖技術の確立に向けた取り組みも実施しています。



マングースバスターズロゴ



マングース



バスターズの作業の様子



調査の様子



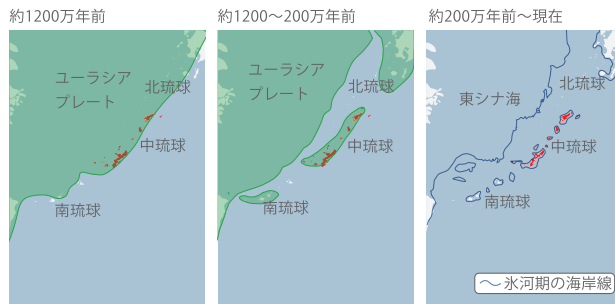
ヤンバルクイナ飼育・繁殖施設

— 亜熱帯照葉樹 —

やんばる地域は北緯27度付近に位置します。世界の同緯度の亜熱帯地域では砂漠や乾燥地帯が多く、森林がある地域はやんばるを含めごくわずかです。琉球列島は赤道直下から流れてくる黒潮と、梅雨前線や台風により暖かく雨の多い亜熱帯海洋性の気候となっています(年間降雨量約2,500mm)。この気象環境がやんばるの豊かな森を作り、その森が多くの生物を育ててきました。やんばる地域における森林率は80%以上で、最も広い面積を占めている自然植生は、スダジイやオキナワウラジロガシなどのブナ科植物で代表される亜熱帯常緑広葉樹林です。

— 島の成り立ち —

琉球列島は新生代の新第三紀(約2,300万年前から170万年前)以降の激しい地殻変動により、大陸や日本本土と陸続きになったり離れたりを繰り返してきました。その時々には様々な生き物たちが琉球列島に渡ってきました。そして島々に閉じ込められた生き物たちは、何万年もの長い年月をかけ島ごとに固有の種へと進化していきました。



国立公園の利用上のマナー

多くの方々に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。



植物や昆虫などを採らない



野生動物に餌を与えない



ゴミは捨てない



キャンプ場等以外で火を使わない



生き物にやさしい運転を



ハブなどの危険生物に注意



外来生物を持ち込まない



集落や拝所等には立ち入らない



回復したヤンバルクイナの放鳥の様子



ロードキル看板



ロードキルにより死亡したクイナ



パトロールの様子



仕掛けられた虫捕獲用トラップ



沖縄本島最北端に位置し、隆起したサンゴ礁の断崖絶壁から太平洋と東シナ海の海原を一望することができます。好天の日は、鹿児島県の与論島や沖永良部島を望むことができます。



2億5千万年前の石灰岩層が隆起してできたカルスト地形に位置し、トレッキングやガジュマルなどの亜熱帯植物の観察、雄大な景観を楽しむことができます。



照葉樹林に囲まれ野生動植物を観察することができ、やんばるの森の豊かさを感じられる場所です。ネイチャートレイルでのガイドウォークや、カヌーツアー、バードウォッチングツアーなどが提供されています。



沖縄本島一の落差を誇る滝です。滝までのトレッキングでは、ヒカゲヘゴやイルカンダなど亜熱帯特有の植物やノグチゲラやホントウアカヒゲなどを観察することができます。



沖縄本島最高峰(標高503m)の山です。登山道はゆるやかで、道中ではやんばるの森の美しさや、生き物の多様性を感じることができます。ガイドを同行した利用が推奨されています。



沖縄八景のひとつに選定されている景勝地です。塩屋湾で行われる豊年祈願行事「ウンガミ(海神祭)」は1997年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。



平南川の上流にある落差10m程度の滝です。シダ植物など亜熱帯特有の植物が見られ、リュウキュウハグロンボやテナガエビなど多くの生き物たちを観察することができます。



慶佐次川河口約10haに広がる、沖縄本島最大のヒルギ林(マングローブ)です。ヒルギ林を観望しながらのトレッキングや、カヌーを楽しむことができます。



やんばる野生生物保護センター
ウフギー自然館

〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村字比地263-1
[TEL] 0980-50-1025

やんばる国立公園の魅力である生物多様性の豊かさとその保全の取組などを学べる施設です。



ヤンバルクイナ生態展示学習施設

〒905-1503 沖縄県国頭郡国頭村字安田1477-35
[TEL] 0980-41-7788

世界で唯一、やんばるの固有種であるヤンバルクイナが飼育、展示されている施設です。



道の駅おおきみ
やんばるの森ビジターセンター

〒905-1318 沖縄県国頭郡大宜味村字津波95番地
[TEL] 0980-44-2233

やんばる国立公園の魅力である生物多様性の豊かさや、やんばるの人の暮らしなどを360°ドームシアターなどで学べる施設です。



東村立 山と水の生活博物館

〒905-1203 沖縄県国頭郡東村字川田61-1
[TEL] 0980-51-2828

やんばるの自然や人々の暮らしについて学べる施設です。ジオラマや複製のほかハブやリュウキュウアユの生態も展示されています。



やんばる3村観光案内所

〒905-1412 沖縄県国頭郡国頭村字奥間1569-1
[TEL] 0980-41-2420

やんばるの3村内の観光や食事、宿泊などを案内している施設です。

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

羽田空港	
那覇空港	飛行機 約150分
	レンタカー 約120分
やんばる野生生物保護センター ウフギー自然館	

※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。

